

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りぼんstepセンター 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 16日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年 1月 9日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	個々のニーズをふまえて活動内容を立案している。同じ活動でも一緒に取り組む友達が違ったり、同じ遊びでも使用する教材が違ったりするのでたくさんの経験を積み、安心して過ごせる内容を計画し進めている。	子どもの発達や特性に応じて活動の設定を行い楽しみながらできる内容をこれからも検討していきます。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達や課題について共通理解を持っている。	送迎時や連絡ノートなどで情報共有させてもらっている。連絡ノートで伝えきれない事や細やかな内容についてはできるだけ口頭でお伝えしている。保護者から個別にお話があった場合は随時電話やメールでやり取りさせて頂いている。	今後も送迎の際や連絡ノートを通して日頃から話しやすい関係作りを心がけていきます。
3	職員間でのコミュニケーションが取れている。	リーダーを各曜日で担当し助け合うシステムができており、子どもの姿の共有ができています。今日の子どもの様子や活動を振り返る時間を作り話をしている。	気を張らず話ができる場を作り、子どもの様子や課題を共有していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの研修等について実施できていない。	不定期に研修を開催したが保護者全体に向けての研修実施に至っていない。開催日時や研修内容等保護者の皆さんの都合を考えるとなかなか難しいということも要因として挙げられる。	今後、研修機会を設けるかについて保護者のニーズを把握し検討していきます。
2	保育所、認定こども園、幼稚園との交流、その他の地域の子どもと活動する機会を持っていない。	それぞれの機関の活動時間が異なり時間が合わせにくいこと、交流に際しての移動の問題などが考えられる。	諸機関との交流について検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りぼんstepセンター 児童発達支援

公表日 令和7年 2月 26日

利用児童数 21

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			利用人数が多い時やよく動き回る子が多い時はもう少しスペースが広いと思います。	活動内容に応じて場を区切るなどを工夫しながら活動等のスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1			適切だと思います。人数にゆとりがあるともっと良いと思います。	現状の取組みを継続していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2			子どもに分かりやすい空間だと思います。バリアフリーは特に必要性を感じないので。	引き続きお子さまにわかりやすく過越しやすいようにバーションでコーナー分けしたり視覚的なシールを活用した環境設定を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2			・先生方には本当に連携頂いてサポートして頂いています。発語がないので、言語聴覚士の方からのご意見や視点からのアプローチがセカンドオピニオン的にあればなと感じます。この部分はりぼんさんに委ねるだけでなく親自身が気づき動くべき部分なのでまてご相談します。 ・特性への専門性にこだわると物足りないと感じる方もいるのかなどは思います。	専門の指導員がいないため研修を受講し職員のスキルアップをはかっていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15		1			年度内公表を目指して申請中です。ホームページに掲載致しますので、ご覧ください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		1		引き続き、面談時に個別支援計画との関連性や目標、支援内容の関連性をご説明していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				現状の取組みを継続していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1				現状の取組みを継続していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	5	6	・今のところそういった機会はないので。 ・他の事業所さんの地域交流の催しの案内はして頂きました。	保育所やこども園、幼稚園等を訪問させて頂き、園でのご様子を共有していきます。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				現状の取組みを継続していきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					現状の取組みを継続していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14		1	1		職員が研修で受講したものを情報共有できるように資料を作成して保護者会などでご対応していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				1	現状の取組みを継続していきます。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	2		不定期ではありますが保護者交流会を実施しました。個別療育ご利用の方にもご参加頂けるよう開催する方向で検討しております。兄弟児同士の交流や父母会のニーズについて把握してまいります。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14		2	レスポンスが早く、いつも助かってます。	現状の取組みを継続していきます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11		1	4		毎月カレンダーを送付しお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			2	マニュアルがあること、子どもが訓練に参加している事は知っていますが、細かい事はわかりません。	契約時に書類にてお伝えし最新の情報を元に見直しています。事業所内にマニュアルを提示することにより周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					現状の取組みを継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			3	少し体をぶつけた程度でも部位と状況を必ず説明して下さるので安心してます。	現状の取組みを継続していきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			自宅より落ち着くのではないかと感じるほどなので安心していると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			お友達や先生に会えるのを楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			・親子ともに助けて頂いています。充分支援して頂いていると思います。 ・楽しく通っており満足しています。 ・よく話を聞いて頂き、わかるまで説明して下さいます。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		りぼんstepセンター 児童発達支援				公表日	令和7年 2月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		基準に基づいてスペースを十分に確保している。粗大運動等ができるスペースを確保するとともに個別スペースも確保している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準に基づいて職員の配置をしている			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		子どもの視界に入るまたは手の届く所には支援に必要な物のみ設置するようにしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		感染症対策をはじめ衛生管理や安全点検を行い支援内容に合わせて適切な空間づくりに努めている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		日々、子ども達の状態を把握し、必要に応じて個別の場所を利用できるように配慮している。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		月一回以上の職員会議や必要に応じて話し合いの場を設け業務や支援内容を振り返り意見を出し合っている。	目標については話し合いが充分になされていない場合があるので今後は留意していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		来所、降所時に保護者と話す機会を設けている。	保護者からの評価を十分に検討し、今後の業務改善に努める。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		個々の意見を聞く機会が持てるよう全体の会議や個別に話をする機会を持つようにしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		第三者による外部評価は行っていない。必要に応じて行っていく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	事業所内研修は必要に応じてその都度行っている			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8		支援プログラムは今後作成し公表する。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		個々の子どもの様子に留意し保護者のニーズの聞き取りを行ったうえでアセスメントシートを作成、支援計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員と情報を共有しながら個々に合った計画を立てている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間に共有されているが計画に沿った支援が行われているかの検証を充分に行えるように努めている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		子どもの日々の行動は担当の職員を中心に把握するようにしている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		5領域の支援についてねらい及び内容を確認しながら子どもの支援に必要な項目を適切に設定するように努めている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	リーダー職員が活動プログラムを立案しその内容に対して改善点がある場合は全職員で意見を出し合い修正している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		個々の特性をふまえてプログラムが固定化しないように努めている。			

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	子どもの発達や状況に応じて個別活動、集団活動の組み合わせを計画し集団指導が苦手な子どもには活動内容に合わせて参加の有無や回数を決めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	支援前に職員間で打ち合わせをし、子どもの動きを見返し、支援者が動けるようにしている。改善点がある場合は意見を出し合い、子どもに合わせた支援を心掛けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援後に子どもの様子を伝え合い情報共有し支援記録に残している支援の振り返りを行い気付いた事や改善点を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎回、支援の記録を取り評価している。記録をもとに子どもの発達の確認や支援の検証を行い支援の改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にもモニタリングを実施している。少なくとも6か月ごとの支援計画作成時にもモニタリングを実施し支援計画に反映させている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		サービス担当者会議には必ず児童発達支援管理責任者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			体制は整えているが実際に連携が出来ていない場合があるので更に体制を整えていくようにする。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4		普段から情報共有と相互理解を図るように努めていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4	就学時の移行を行っていない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	研修に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		今後は交流する機会を作っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		保護者の送迎の際に子どもの状況や課題について伝えている。必要に応じて電話やメール、面談などを行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		相談があれば情報提供を行っているが、家族支援プログラムは実施していない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談、電話、書面を通して意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		面談を行い、署名、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者から相談があればその都度適切に応じ助言している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		不定期ではあるが保護者会を開催した。	保護者からの希望があれば実施を検討する。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情窓口を設け管理者が対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	2	毎月のカレンダーで活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		マニュアルに沿って適切に対応している。書類等は鍵のかかった棚に保管し持ち出し禁止を徹底している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		ニーズに合わせた対応を行っている。口頭だけでなく必要に応じて文章にて掲示を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	随時見学等を受け入れている。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。定期的に避難訓練を実施している。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に避難訓練を行っている。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		アセスメントシートに既往歴や服用薬、アレルギー等を記入して頂き把握に努めている。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アセスメントシートに記入して頂きアレルギー、服薬についての情報を把握し職員間で共有している。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画に沿って訓練やガイドラインの読み合わせを行っている。	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		重要事項説明書等で周知している。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		報告書を作成し全職員で確認共有し、再発防止に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		外部研修会に参加し職員研修も定期的に行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		職員全員に研修を行い周知している保護者は重要事項説明書に記載し説明している。		